

家族で学ぶ純粋倫理 〈富田英則さん一家〉
井口富夫キャリア委員長に聞く
活動報告・お知らせ



今月の表紙

狭山市倫理法人会第9代会長に就任した新井美智子さんは、かつて朝礼コンクールで優勝したジャパントータルビューティシステム㈱の社長として活躍しています。この日は「美と健康スタジオ メディビューティー」でスタッフと一緒にポーズ。お花に囲まれた店先が印象的でした。

家族で学ぶ 純粋倫理



富田家のダイニングルームにて。右が富田英則・伯枝（のりえ）夫妻、中央が富田良太・佐貴夫妻、左が前田智輝さん。後ろのパネルは今年2月に亡くなった富田さんのお父上の業績をまとめたもの。今回の取材のために出してもらいました。

夫婦や親子で倫理を学んでいる会員は少なくありませんが、一家まるごと会員で、しかも多くが要職に就いているのが久喜の富田家。みなさんにお話を伺いました。

シヨールーム建設を依頼した縁で
平成8年に倫理法人会に入会

「今いるこのご自宅は、以前はお店があった場所なんですね？」

富田英則（以下富田） そうなんです。父が叔父と二人でトミタモーターズを開業したのが昭和28年で、ホンダのバイクとクボタの農業機械を販売していました。その後、ホンダの四輪車とクボタの農業機械を販売するお店を分けて、行田や幸手にも進出し、今に至るわけです。

「今日はご自宅に、奥様の伯枝さん（久喜市倫理法人会幹事）と長男の良太さん（幸手・杉戸倫理法人会専任幹事）と奥様の佐貴さん、それに長女ひかりさんのご主人の前田智輝さん（埼玉県青年委員長）にお集まりいただき、県下でも珍しい倫理一家のお話を伺いたいと思います。」

まずは富田家と倫理とのなれそめから聞かせ願えますか？

富田 この家もそうですが、うちのシヨールームは全部蓮実さんのカクダイホームにやってもらっているんです。その縁で、平成8年に入会しました。といっても、人の縁はずっと前から続いていて、たとえばうちのお客さんたちで結成したオートバイ愛好会の「埼玉愛輪会」では、内田参事のお父さんが会長を務められていました。

富田伯枝（以下伯枝） 私は家庭倫理の会の経験が長く、不思議なことに結婚する前から富田の父のことを知っていました。富田とはホンダの車を買ってから知り合いましたが、家に点検や車検でよく来てくれて、私よりもむしろ父が気に入ったという感じです。私は前期まで茨城県の古河中央倫理法人会にお世話になっていましたが、今期からは久喜で幹事を拝命しています。

ホンダが創業してわずか
5年後からの長いお付き合い

―創業者であるお父様を今年の2
月に亡くされていますね。

富田 長女と前田智輝さんの結婚式が
コロナで1年延びて2月の22日にあつ
たんですけど、父はそれに出席するの
をととても楽しみにしていました。カレ
ンダーに丸をつけてね。でも昨年の暮
から体調を崩してしまい、入院して結
婚式には出られませんでした。式の翌
日、病院から容態が急変したとの連絡
があり、ちょうど結婚式で親族が集
まっていたから、すぐに駆けつけ
ることができました。みんなで最後の
お別れができて、よかったと思っています。



富田英則 埼玉県副知事。久喜市倫理法人会会長。東部
地区長。後継者倫理塾長を歴任してきました。

―富田さんはホンダ学園の出身ですね？

富田 はい。叔父の勧めで入学しまし
た。校長の本田宗一郎さんにも何度も
お目にかかっています。一緒に撮った
写真もありますし、私たちが整備した
古いレーシングマシンに乗りに来てく
れたこともあります。その2、3年後に
亡くなりましたが、とにかく技術に徹
底していて妥協を許さない人でした。
ホンダ学園には年に一度、校長講話と
いうのがあるのですが、宗一郎さんが
来ると学生が大喜びしたものです。

―御社はまもなく創業70周年ですね。

富田 父は70周年の式典に出たかった
ことと思います。父は89歳で亡くなり
ましたが、私は90歳まで生きると会
社がちょうど100周年になります。
だから何としても父より長生きして、
100周年の記念式典で祝辞を述べる
というのが、今の私の夢です。

父をツインリンクもてぎにあるホン
ダのコレクションホールに連れて行っ
たことがあります。あそこには歴代のホ
ンダ車が、それぞれF1マシンからバイ
クまで全部揃っていて、すべて実際に
エンジンがかかる状態で保存されてい
るんです。父はとても懐かしがって
いましたね。何しろうちはホンダが産声
を上げて5年目からのお付き合いです
から。当時のホンダは、まだ町工場に
毛の生えたような会社だったそうです。
よく父が当時の話をしてくれました。

富田伯枝 久喜市倫理法人会幹事。茨城県古河中央倫理法
人会で事務長などを経験してきました。



「免許を取ったら？」のひと言が
運命の扉を押し広げた

―伯枝さんが富田さんと結ばれたのは
ホンダ車が縁なんですね？

伯枝 私の父が運転が下手だったの
で、私はどちらかというと車が苦手で
した。それなのに車を買ったのは、母
が「車の免許を取ったら？」と背中を
押してくれたからです。今にして思え
ば、そのひと言がなかったら、今ここ
にこの顔ぶれが揃うことはありません
でした。

ホンダ車にしたのは、小学校の同級
生で初恋の男の子がプレリウドに
乗っていたからです。そうして縁あつ
て富田の家に嫁ぎましたが、私は富田
の父の下でしごかれました。「お前
にができる」とか「お前にできっこ
ない」などと厳しい言葉を投げかけら

れたものです。もつとも男の人たちは、
さんざん殴られたりしたそうです。

富田 うちの会社はホンダとクボタを
やっていたんですが、父がクボタを、2
歳下の叔父がホンダを主に担当してい
ました。私はホンダのほうだったの
で、叔父と一緒に働いたわけです。もし父
が上司だったら、どこかの時点で家を
飛び出していたかもしれません。

―富田さんは家庭ではどんな人でしたか？

伯枝 とにかく家にいない人でした。
東部地区長をやっていた時は、毎朝3
時半には家を出ていきますし、休日も
夜も出かけていきます。倫理の前は青
年会議所を熱心にやっていて、子供た
ちの大事な時期にほとんど家にいま
せませんでした。

富田 いやー、孫ができて面倒を見て
いると、子供の世話ってこんなに大変
なのかと思いましたね。なにしろ自分
の子供をお風呂に入れた記憶もないく
らいだったから。

伯枝 そんなわけで、私は倫理が嫌い
になっていました。それが変わったの
は、古河中央倫理法人会に2年半通っ
て、家族とは別の場所で勉強したから
だと思っています。そのおかげで富田の活
動も理解できるようになりましたし、
富田の父の晩年に寄り添ってあげるこ
とができたのだと思います。そして今、
共に学び、共に成長するために、久喜
に戻ってきました。

富田良太幸手・杉戸倫理法人会専任幹事。花輪喜美江会長を支える若手役員として講話にひっぱりだこです。



倫理や塾への恩返しをするために専任幹事を引き受ける

―次は良太さんの番ですね。

富田良太（以下良太） はい。今年度から幸手・杉戸倫理法人会で専任幹事を拝命している富田良太です。

―良太さんは倫理にいつ入ったのですか？

良太 それこそ小さいころからモーニングセミナーに通っていました。大学生の頃は、長野の大学に通っていたので、夏休みに帰ってくると倫理の人たちと仲良くさせていたっていました。

大学を卒業して1年間はよそで働いていましたが、2年目に実家に戻ってきて、正式な入会はその時になります。平成27年からだと思います。

そしてその年に後継者倫理塾の13期生としてお世話になりました。森塾長

の時で、同期には清水S.Vの息子さんや小池前会長のところの方がいて、メンバーに恵まれていました。仕事では幸手の拠点で店長を拝命しているの

で、幸手・杉戸倫理法人会にお世話になって

います。―久喜じゃないんですね。

富田 うちの会社は幸手・杉戸にも入っていますから。

良太 私も以前から幸手・杉戸のモーニングセミナーに行っていたので、それも縁なのですが、現在、倫理塾委員会の谷野委員長は私の次の14期生で、私が運営委員として担当させていた

たんです。恐れ多いのですが、塾では一応私が先輩なので。

そして谷野さんの前任の後継者倫理塾長はうちの父なので、そういう縁からも単会として幸手・杉戸を盛り上げたいということ、私に専任幹事のお声がかかったという流れです。本当にいろいろな縁やタイミングが重なって、この話になったのだと思います。

―そういう形でくると、もう断れないですね。

良太 本当にもうやるしかないなと。私も倫理や塾には本当にお世話になったから、今度は逆にこちらからお返しする番だなと覚悟しました。

富田 花輪さんから電話があって、良太を専任幹事にしたいと言うから、本人に聞いてくれと答えたんです。

細い糸のような偶然が重なり合って奇跡的な出会いが生まれた

―良太さんと奥様との馴れそめは？

良太 母が「母のひと言」と言いましたが、じつは私もそうなんです。

学生時は家にいない父からいろいろな本をもらっていました。その中にワタミの渡邊美樹さんの本があって、将来自分も経営者になりたいと思

いがら読んでいました。うちはホンダの車とクボタの農業機械を売っています。が、私はホンダに進みたいと思っています。なので、農業のことを知るなら学生時代しかないと考え、ワタミの本に出ていた「農業インターンシップ」に参加しようと思ったんです。

北海道の農家にお世話になって研修するのですが、参加を決めた後でいろいろあって、参加を迷ったんです



富田佐貴さん。「倫理2家」に嫁ぎ、朝から晩まで超多忙な夫を全力で支えている奥様です。

ね。その時に母が「せっかくだから行てきなよ」って背中を押してくれました。その結果、行った先で佐貴さんと出会ったわけです。

佐貴 私は山口の大学だったんですけど、ワタミの介護の方に就職を考えていたので、せっかくだからインターンシップに来ませんかという案内をもらって行こうかなと思いました。そこに良太さんがいたんです。

良太 だからみんなに説明が難しいんです。私は埼玉で、妻は大阪出身で大学は山口。それで知り合ったのが北海道の帯広。まさに奇跡的な出会いですね。父からもらった本で渡邊美樹さんのことを読んで興味を持ち、母から「行きなよ」と後押ししてもらっていたければ、この縁はなかったわけです。

―お二人のお住まいはさいたま市ですね。倫理に通うのが大変ではないですか？

良太 本当に妻には頭が上がりません。今日もこの取材のためによく来てくれたと思います。

―佐貴さんはどう思っていますか？

佐貴 まあ、頑張っているの、応援してあげたいです。

良太 家に帰ればご飯を作って待っていてくれるし、朝も起こしてくれるんですよ。自分もアラームかけるんですけど、万が一という事で妻も一緒に起きてくれて送り出してくれるんです。

「倫理は儲かるよ」という 内田参事の言葉を信じて入会

―最後は青年委員長です。

富田 長女ひかりの旦那さん、前田智輝さんです。

前田智輝(以下前田) ぼくは平成27年の9月入会です。内田参事が県の会長をやっていた時、個人で70名普及するという目標を立てられたのですが、その第1号がぼくなんです。

今は整体施術院を一人で運営していますが、始めた当初は経営のことがまったくわからないので困っていました。そんな時、学生時代からのご縁で「倫理法人会というのがあるよ」と教えてくださった方がいました。幸手・杉戸倫理法人会の石橋さんという方です。薦められた次の日にモーニングセミナーに行くと、そこに内田さんがい

らして、名刺交換しました。

その時に言われたのが、「倫理は儲かるよ」という言葉です。「金が追いかけてくるようになるんだよ」というので、ちょっと胡散臭いかなと思ったのですが、内田さんのバッグの中をちらっと見ると、札束が3つありました。300万円ですよ。これは本当なんだなと思って入会しました。

入会したら不思議なご縁で、斎藤照子さんという、蓮実顧問を倫理の道に導いた大先輩がいらして、その人が「あなたはどこから来たの?」と聞いてきました。「久喜から来ました」とぼくが答えると「久喜のどこだい?」と言うので、町名を言うと「あんた、おばあちゃんなんて名前?」と怖い顔で詰め寄ってきます。聞けば、ぼくが生まれる前に亡くなったおばあちゃんが家庭倫理の会に入っていたそうです。

「兄弟みたい」と言われていたら 本当に兄弟になりました

―入会してから奥様を射止められたわけですか?

前田 入会した時に久喜の会長をしていたのが、現在義父になった富田さんでした。ある日、お嬢さんのひかりさんが会員スピーチをしていて、完璧すぎてすごいんです。なんでこんな若いのにしっかりしゃべれるのかなと思

ました。倫理の学びを続けていれば、こんなふうに人前で話すことができるようになるのかなと思ったものです。―その時は将来家族になると思っていましたか?

前田 いえ、まったく。というか、最初のうちは良太さんの下でいろいろと教えてもらっていました。

良太 兄弟みたいだって言われてたんですよ。同じころに入って、久喜には同じくらいの年代がなかなかいないので、二人で並んで座っていました。

前田 その後、青年委員会にひかりさんが参加して、「良太さんの妹」と紹介されたので、ぼくが面倒を見なきゃいけないと思っっているうちに、お付き合いするようになりました。

―そして青年委員長に就任します。

前田 ぼくみたいなのがやらせてもらえるのは今しかないと思うので、チャンスだと感じました。せっかく選ばれたのだから、若くて倫理を好きな人間を増やしていきたいなと思っています。



前田智輝 埼玉県青年委員長。就任するや矢継ぎ早に斬新な企画を次々と打ち出している行動派委員長です。



昭和32年、まだ創業したばかりのトミタモーターズ。下の写真は上の奥側。店先にバイクがたくさん並んでいることで当時の盛況ぶりがうかがえます。この後、高度成長期の波に乗り、トミタモーターズは右肩上がりの成長を遂げていきます。

井口富夫キャリア委員長に聞く

単会会長経験者約260名で構成されるキャリア委員会。今期から委員長に就任した井口さんは、埼玉県の普及を後押しする組織にしたいと考えています。その構想を聞きました。



全員が会長経験者である
キャリア委員会の力を普及に活かす

「委員長に聞く」というシリーズの1回目として、今期から中身が大きく変わったというキャリア委員会を取り上げようと思っています。どんなところが変わったのでしょうか。

井口 私は7月になって急に委員長を受けることになりました。実を言えばこの4年くらい、キャリア委員会にはご無沙汰していたんです。単会の会長を3年やり、その前は県の副会長を1年間拝命していましたから。

皆さんのキャリア委員会への印象というと、「ゴルフと飲み会」かもしれません。親睦を主体に活動していましたから、どうしてもそう見えてしまうのは仕方がないと思います。

私は委員長を受ける時に連実顧問から「思い切って改善改革してほしい」と言われました。大きな流れはこれまでと変わらなくても、埼玉県倫理法人会を良くする方向に変えていつてもらいたいということだと受け止めました。

「会員のしおり」にはキャリア委員会のスローガンとして「共助の精神で、過去の経験をフルに活かそう!!」という言葉が掲げられていますね。

井口 「共助の精神」とは、キャリア委員と一般会員が共に助け合うということを指しています。その目的は何かと

いうと、もちろん「普及」です。普及のためにどうやったたらみんなで手を携えることができるかを考えて活動しようということです。

それはゴルフや飲み会をやめるという意味ではありません。ゴルフや飲み会には大きなメリットがあります。ゴルフは好きな人が多く、県外から仲間を集めることができます。県外のキャリア委員には埼玉に影響力のある人もいますから、そういう人の力を借りて普及を進めるという手もあります。飲み会もしかりです。

「キャリア委員はみな会長経験者ですから、普及のノウハウをたくさんお持ちですよ。」

井口 そう。全員が会長の経験者なんだから、その人が持っている技を活かさなければもったいない。ある意味では、そこが委員長の役目だと思っています。

ただし、今現在忙しいお役を持っていない人は、声を掛けないと活動的にはなってくれません。犬や猫だって人間だって、刺激がなければ寝てしまうじゃないですか。

そのために、私のアイデアで今期から「歴代会長の出席簿」をつけてもらうことにしました。モーニングセミナーや基礎講座、経営者の集いに歴代会長がどれだけ出席しているかがひと目でわかる資料です。

執行部+地区リーダーという 縦横の役員構成が効果を発揮

ーキャリア委員会の中の役員構成が変わりましたね。

井口 執行部として私と鴨井副委員長、天野さん、渋谷さんの4名体制としました。天野さんには幹事長的な役割、渋谷さんには事務長的な役割を果たしてもらおうと考えています。実際にこの4人で活動をスタートしてみると、実にスピーディーでムダがありません。

せん。この4人でいろいろな施策の案を出し、それを8名の地区リーダーに伝えます。すると各地区リーダーがサブリーダーに伝えて、そこから全委員に伝わるという仕組みです。

今までのキャリア委員会は十数名の「副」がいる横長の組織でしたが、今回の組織は縦と横のつながりで構成しています。これにより、連絡漏れを防ぐことができ、意志決定、意思伝達ともに効率と早さが向上していると思います。



このメンバーでいろいろなことを決めてきました

が、これまでの大きなイベントは10月17・18日に伊香保のホテル天坊で開催された「新旧顔合わせ」です。これには40名以上が参加して、大いに盛り上がりました。会議、報告、飲み会、ゴルフがメリハリよく開催できて、参加メンバーの気合いが入っていることがよくわかりました。

それを見て、私は今回キャリア委員長を受けて良かったと思います。単会長を退いて、もう大きな役は受けないつもりでしたのですが、やり甲斐を感じました。

2月22日の「新春の集い」で 150名の動員を予定

ー次にやる大きなイベントは何ですか？

井口 来年2月22日に大宮の清水園で開催する「新春の集い」です。これには約260名の委員全員に案内を出して参加を促します。

メインの講演には、銚子電鉄の竹本勝紀社長をお呼びしています。竹本社長は木更津出身の税理士で、顧問税理士の立場から社長に拔擢されました。銚子電鉄はわずか6・4キロのローカル鉄道で、大赤字を抱えていました。電車の修理代を稼ぐために「ぬれ煎餅」や「まずい棒」などを販売して話題になった電鉄会社です。竹本社長の逆境下における組織運営の秘訣を、ぜひ皆さんに聞いていただきたいと企画しました。150名以上の参加を目標にしています。

ー他の委員会との関係も考えられていますか？

井口 スローガンに掲げた「共助の精神」は、委員会同士の関係にも向けられています。たとえば、先に挙げた「歴代会長の出席簿」ですが、このデータをモニタリングセミナー委員会と共有すれば、ひとつのツールとして使えるかもしれません。同様に、朝礼委員会、研修委員会、広報委員会、女性委員会、青年委員会、倫理塾委員会とも有意義



な関係ができると考えています。

ー「歴代会長の出席簿」は話題になりましたね。

井口 統計的に見て、歴代会長の出席率が高い単会は、普及も活発で元気に活動しています。だから、歴代会長の人数が同程度の単会同士でその出席率を比べてみると、自単会の実力のバロメーターになると思います。単会会長がこのデータを持って歴代会長のところを回り、顔を出してもらうように頼むことで、おのずと会の活性化が図れるのではないかと期待しています。みんなががんばりましょう。

大野県知事表敬訪問

埼玉県倫理法人会



10月15日、恒例の県知事表敬訪問のため、平林会長、風間幹事長、西井事務長の県三役が県庁に大野県知事を訪問し、顧問委嘱状を手渡してからしばし歓談をしました。

猛威を振るったコロナが落ち着きを見せってきたせいか、大野知事の表情もかつてテレビのニュース映像で映し出されたころよりは穏やかになり、平時に近いゆとりが感じられました。

「なぜ急速に落ち着いたか理由が不明なので、また急上昇するかも」と油断を戒めた後で、安全な範囲で経済を活性化させるように尽力してほしいとのお話には、伝染病対策と経済成長のバランスを取らねばならないお立場の難しさが伝わってきました。

県役員会での普及表彰が復活

埼玉県倫理法人会

10月3日の10月度埼玉県役員会にて、単会ごとの普及実績が表彰されました。今年度は普及に本腰を入れたという平林会長、風間幹事長の熱い思いが結実した表彰式では、多くの単会の名前が読み上げられ、表彰状を受けとる列が長く伸びていました。

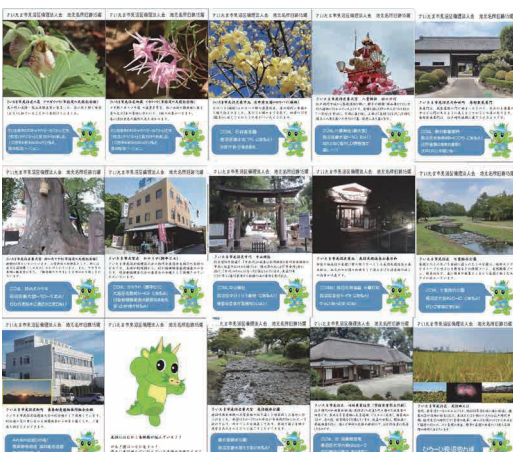
この普及表彰は今後も毎月の県役員会で実施され、あわせてモーニングセミナー委員会による出席社数や出席率を競う表彰も毎月実施されます。

普及とモーニングセミナーの活性化は単会を元気にする両輪。その両方で競い合い、結果を発表していく姿勢には、埼玉県の勢いを取り戻し、埼玉県を全国ナンバーワンに戻そうという意気込みが感じられました。



ありがとうを形に！

さいたま市見沼区倫理法人会



さいたま市見沼区倫理法人会では、「ありがとうを形に！」のキャッチフレーズのもと、講話者へのありがとうを形にするメッセージ・カードを作成しました。令和4年度より、モーニングセミナー参加者にメッセージ・カードに講話者へのお礼、感想、自身の実践項目などを記載していただいて、講話者へ贈っています。

メッセージ・カードは15種類あり、裏面は見沼区の「地元名所旧跡15選」の写真と説明を記載しています。講話者への感謝のみならず、講話者と参加者にもっと見沼区を知っていただくこと、地元の誇れる名所旧跡の再認識すること、地元愛を育むことも目的としています。

今後も、さいたま市見沼区倫理法人会では武藤会長を筆頭に、「ありがとうを形に！」のキャッチフレーズで、感謝を循環させ、単会の活性化に繋げていきます。

第十三代会長掲額式

埼玉県倫理法人会

10月14日、埼玉県倫理法人会第十三代会長掲額式が行われました。

この日は、7名の歴代会長が集まり、令和2年度・令和3年度と2期会長の務められた小池前会長にお祝いの言葉を送られました。

小池前会長は、「あつと言っ間の2年でした。この2年間、とても良い経験をさせていただきました。以前より、大きな視点から会社経営に関わるようになったと感じています。そして、2年間支えてくださった歴代会長にお礼を申し上げるとともに、これからも足元の実践を行い、普及できる人材を一人でも多く育てたい」とお礼を述べられ、令和4年度の平林会長へバトンが渡されました。



ようこそ、倫理法人会へ!

吉川・松伏倫理法人会

9月13日、吉川・松伏倫理法人会では、今年度第一回の新入会員歓迎・全体役員会を割烹料理の店「ますや」にて開催いたしました。

22名の参加者で、7名の新入会員をお迎えしました。「ようこそ」の想いを込めレイをかけて歓迎し、楽しく華やかな会となりました。また、ほとんどの新入会の方が、幹事や各委員会に入っていたいただき、これから会の発展に貢献していただけることと期待しています。

役員会では、今年度の活動方針や普及についても案が発表されました。

※緊急事態宣言発令中のため、会食はせず、お弁当をご用意しお持ち帰りいただきました。



プロからのレッスンも受けられる

埼玉県キャリア委員会（東部地区主催第2回ボウリング教室）

10月6日、春日部ター

キーボウルに於いて15名の参加者のもと、埼玉県キャリア委員会東部地区主催の第2回ボウリング教室が開催されました。当日は、初心者の方には、東部地区幹事の野村祐輔プロによるレッスンが行われました。とても丁寧な指導に、参加者は喜んでボウリング球を投げ込んでいました。スコアは気にせず勉強になったことと思います。

次回（第3回目）は11月3日に開催いたします。当日に向けて個人的に練習をされる方もいるのではないのでしょうか？ さあ、次回のスコアはいかに！ 次回にご期待下さい。中級・上級の方はもちろん、初心者の方のご参加もお待ちしております。



快晴の秋空の下、ご墓所参り

川口市倫理法人会



11月6日、川口市倫理法人会としては18名が参加し、約5年ぶりに丸山敏雄創始者のご墓所参りを行いました。到着後、先ずは参加者全員で墓石の拭き掃除や周辺清掃を行いました。全国各地の倫理関係者がお参りに訪れており、名刺交換会状態に。想像していた通り人の絶えない賑やかなご墓所参りとなりました。清掃後参加者一同で墓石に向かい神道式で参拝し、今後の決意を祈誓しました。併せて物故会員、研究所員のご墓所もお参りさせていただきまし

たところ、3年前に倫理指導でお世話になった井上茂勝参与の名前を見つけ胸が熱くなりました。倫理では元とつながるという学びがあります。今回のご墓所参りを通じて実感できたように思います。また久々に会員同士の親睦を図る機会ともなり充実した楽しい時間を過ごすことができました。

風にも負けず、ナイスショット！

東南地区



10月20日、かなり強めの秋風が吹いていましたが、抜けるような青空が広がる晴天の中、茨城県常総市にあるフレンドシップカントリークラブにて、東南地区ゴルフコンペが開催されました。東南地区の会員を中心に、老若男女24人が親睦とゴルフの技を競い合いました。

優勝は三郷市の見付会長でした。見付会長はご自身の病から回復されたばかりでの参加でしたが、強い精神力と気力で最後まで見事なプレイで感動の優勝を遂げました。

東南地区は、これからも木村地区長を中心に、強い絆と気力で普及の実践に努めて参ります。

令和4年度「倫理経営講演会」開催勉強会

研修委員会

11月7日、県役員会の後でガーデンホテル紫雲閣にて令和4年度「倫理経営講演会」開催勉強会が開かれました。県役員会に出席した人はそのまま朝食後に居残って参加し、研修委員会やその他の参加者はZOOM参加でした。

高木研修委員長の挨拶、富田県副幹事長の趣旨説明に続いて、西入間倫理法人会の杉森真哉相談役による「倫理経営講演会を成功に導くために」と題した講話と具体的事例が45分間にわたって話されました。

実際に西入間倫理法人会の倫理経営講演会で使用された資料が事例として参加者に配られ、目的と手段を明確にした解説で、誰もが納得のセミナーとなりました。





令和4年度「役職者研修」を開催

埼玉県倫理法人会

10月3日、県役員会の後で令和4年度「役職者研修」がガーデンホテル紫雲閣にて開催されました。参加対象者は県執行役員と単体会長・専任幹事です。

講師は河野武彦法人アドバイザーで、テーマは「役職者の心得と実践」。いつものように軽妙洒落な語り口で真髓をえぐる河野アドバイザーの話に、参加者一同聞き入っていました。

「結果を出さなければ誰からも認められない」「結果を出すには覚悟が必要」「全力で走れば結果はついてくる」「楽しくなるまで全力で走りきる」「夢という通貨で何でも買える」といった言葉のかずかずが、参加者の胸に深く刻み込まれました。

「愛と誠と一所懸命」イブニングセミナー開催!

西入間倫理法人会



10月16日、アルカールサル迎賓館川越にて約1年半ぶりとなるイブニングセミナーを開催致しました。

お招きした講師は、青森県倫理法人会会長(八戸中央青果株式会社代表取締役)横町芳隆様です。同社のキャッチフレーズは「情熱市場」。この四字熟語には『価格ではなく、仕事に対する社員の情熱で評価してもらおう』という横町講師のメッセージが込められており、講師の経営信条である「愛と誠と一所懸命」という言葉と相まって非常に熱量の高いセミナーとなりました!

参加者からは「目に見えない心を、形(笑顔・しぐさ)にしていくことが企業経営の大切な根底であると感じた」と感想をいただき、横町講師にも西入間倫理法人会のおもてなしに大変感激いただきました。セミナー開催目的の既存会員への呼びかけ、未会員への普及促進、新役員の団結も高めることができ、大変有意義なセミナーとなりました。



2年ぶりにバーベキュー懇親会を開催!

さいたま南倫理法人会

10月17日、さいたま南倫理法人会は、令和元年8月以来の、別所沼会館ジギスカンを利用したバーベキュー懇親会を行いました。長い会の歴史を反映して、國武、志村、吉野、角田、小林、野並、福島の名の歴代会長や、会の長老も参加され、更には赤ちゃんを連れて参加した方もいました。まさに老・壮・青(幼?)のバランスの取れたメンバーが揃って、久しぶりに和気あいあいとした集まりが実現できました。

そして、令和4年度からの会の発展に向けて大いに決意を新たにしました。

会員紹介

～さいたま市見沼区倫理法人会～

株式会社カイコム・ソリューションズ・ジャパン
取締役社長兼CEO ダス・アンジャン

2005年に来日し、静岡大学で修士号を取得後、沖電気工業でシステムエンジニアを4年と海外営業・マーケティングを4年従事し経験してきました。2017年に、コンサルティング業とソフトウェア開発を行う株式会社 Kaicom Solutions Japan を創業し複数の日本企業のバングラデシュへの進出支援や投資活動等のサポートを行っています。

現在では、バングラデシュ政府プロジェクトであるメガウェブシステムのソフトウェア開発とバングラ

デシュのJETRO 指定コンサルタント兼現地コーディネーターの役割を行っています。

9月にさいたま市見沼区倫理法人会に入会し、他では聴くことができない内容の講話を聴き学んでいます。今後、倫理を学びながら、日本とバングラデシュとの架け橋の役割を担って参りますので宜しくお願い致します。



〒337-0053 埼玉県さいたま市見沼区大和田町2-381-1 TEL 080-3611-9994

～西入間倫理法人会～

株式会社ぴあのち
齋藤由貴

7月に、西入間倫理法人会に入会しました、オンライン&出張ピアノ教室『ぴあのち』の齋藤由貴です。

入会のきっかけは、「子どもと一緒に参加OK!」と書いてくださったことにありました。4歳の娘を育てている一児の母でもあるのですが、モーニングセミナーの時間帯に家族に娘をみてもらうことが難しく、入会を悩んでいたところ、一緒に連れておいでよ!とおっしゃっていただいたのが大きなきっかけとなり入会しました。

どんなに一緒に連れていきたくても、お相手側に

OKだよと言ってもらえなければ、子どもを連れて参加することは叶いません。「親子で参加できる」そんな有難い環境を提供くださった西入間倫理法人会の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。倫理について学ぶことは始まったばかりですが、これからも娘と一緒に参加して、学びを深め、西入間の方や、同じ倫理を学んでいる方に恩返しができるようになりたいです。



〒350-1231 埼玉県日高市鹿山223-4 TEL:042-978-7213

～春日部市倫理法人会～

株式会社ANVEST
ファイナンシャル・アドバイザー 安齋光貴

以前生命保険会社に勤めていた時に学んだ金融や税務・財務・ファイナンス分野に関わる知識を駆使して、会社や個人の資産の最適化、最大化を図るお手伝いをしています。

現在は内容をテーマにした『知らないと一生損するお金の話』『税理士が教えない禁断の法人クレカ活用術』等とったテーマのオンラインセミナーを月2回ほど開催し、お金の知識に関する啓蒙活動を実施しております。

倫理法人会には、地元の経営者の集う勉強会で知り合った方をきっかけに1年半前に入会させていただきました。毎週水曜日のモーニングセミナーは、心を整える場として活用させていただき、仕事に多大な活量を与えていただいております。今後も倫理の学びをより深め、仕事と家庭を良くしていきたいです。



〒344-0064春日部市南1-1-7 5F B-3 TEL:090-8017-8727

お問い合わせ先

事務局／埼玉県さいたま市北区櫛引町2-153-2
Tel.048-668-7200 Fax.048-668-7300

埼玉県倫理法人会発行 発行人／平林 照雅 編集人／山崎 修



◆MS案内メール◆

埼玉県倫理法人会で開催されるモーニングセミナーを前々日にメールでご案内致します。会員登録(無料)は携帯電話・スマートフォンの方は、QRコードを読み取り、空メールを送信してください。パソコンからは、d-70736@70736.r.atml.jpに、空メールを送信してください。